



わたしの一冊・わたし的一本

うるしの話

松田 権六 著 岩波文庫(岩波書店) / 2001.4 発行

推薦者 東京造形大学 プロジェクト科目部会 教授 田窪 麻周 先生			
おすすめ	おためし	お気に入り	対象：高校生以上
田窪先生が担当した さがまちカレッジ	研ぎ出し蒔絵に挑戦 (2017年9月、2018年5~6月)		

かつてオーストリアで暮らしていた時のこと。漆器を見て「プラスチックと同じじゃないか」と言っていた人たちが、料理をよそって出すと「ウォー、美しい！！」と驚いていたことを思い出します。そんな漆の魅力を語ってくれる本です。私はデザイン科を受験していましたが、浪人時代に松田権六展を見て進路を変え、漆芸を専攻しました。展示会場の作品は、それまで思い描いていた漆器と全く違っていたのです。その美しさに魅了されてしまいました。それと同時に、漆についてほとんど知らないことも認識させられました。その後、勧められたのも松田先生のこの本でした。ずいぶん前に書かれたものですが、今読み返しても色あせない内容で、漆のことならこれ一冊でほとんどのことがわかります。第二部は松田先生の話で、こちらもお勧めです。

※初版は、岩波新書青版 542 として 1964 年 11 月に発行されました。

おすすめ：先生が担当した講座に関する勉強ができる作品
 おためし：新しいことを勉強する良いきっかけになる作品
 お気に入り：先生の好きなことに関する作品や、先生の心に残る作品